

Richart ~ピチヤリ~

七飯町歴史館だより
第8号

ななえ古写真物語 VOL. 8

宮崎旅館

~大沼観光の先駆け~

明治5年~昭和初期?

じゅんさい沼付近

宮崎旅館近景



nanae historical
museum collection

七飯町の観光の中核を担っている大沼公園駅周辺は、明治36年に鉄道が敷設されたことが契機となり発展しました。しかし、それ以前は、じゅんさい沼のあたりの方が名勝地として有名だったことをご存知でしょうか？これは、明治5年に札幌本道（現国道5号）が開削され、じゅんさい沼の傍に西洋式の馬車道が整備されたことをうけ、宮崎重兵衛という人が旅館を開業したことが発端といわれています。

宮崎重兵衛は、八王子千人同心の一人として七重村に入植、箱館戦争時には箱館府在住隊として参加した経歴を持ち、その後、現在の宝琳寺周辺に居を構えていたのですが、明治4年にじゅんさい沼へ移住したといわれています。重兵衛が建てた写真の建物は、宮崎旅館と呼ばれ、当時、外国人の来遊などでも賑わっていたといえます。

また、明治14年の明治天皇の北海道巡幸の折には、小休所に当てられ重兵衛は沼でとれたジュンサイや鯉・鮒などを天覧に供しました。箱館戦争にも参加した宮崎重兵衛にとって、明治天皇が自身の家でお休みになったことは、感涙の極みだったのではないかと、勝手に想像してしまったりします。

さて先程、宮崎旅館に外国人も訪れたことに触れましたが、明治11年（1878年）6月から9月にかけて、東京から北海道まで旅行した英国人女性のイザベラ・バードという人物もその一人と考えています。ちょうど今年、彼女の日本旅行から130年の月日が経過した年になり、バードの旅行記は、明治初年の北海道アイヌについても詳細に記されていることから、当時のアイヌ風習などを知る貴重な文献としても知られています。

バードは、明治11年の7月に、じゅんさい沼に宿泊しその時の様子を「ほとんど湖の上に張り出して建てられた階上の部屋の外にいる」と記しています。当時、じゅんさい沼のまわりにあった宿泊施設全ての写真を見たわけではないのですが、上の写真にある宮崎旅館の構造をみると、高床となった上部に、障子に囲まれた部屋とは別にやや張り出した箇所が認められることなどから、恐らくバードもこの宮崎旅館に宿泊したものと考えております。

残念ながら、昭和40年にこの宮崎旅館の建物は倒壊してしまいましたが、百年以上も前の往時をこの写真が記憶している……。そんな一枚の紹介でした。

13日

企画展「Bird～いろいろな鳥たち～」の関連事業として、日本野鳥の会の田中正彦氏を講師に招き、展示解説を行いました。残念ながら参加者は少なかったですが、七飯町に縁のある鳥たちや生態についてのお話、参加者も打ち解けた雰囲気の中、身の周りの野鳥の魅力を再発見していただけたようでした。



熱心に解説を聴く参加者



将来は昆虫博士？

21日

町内の小学校4年生以上の児童を対象に「昆虫採集・標本づくり教室」を開催しました。午前中は仁山スキー場で昆虫採集をしたのですが、ハラビロトンボという珍しいトンボをとった児童があらわれ、講師の先生方も驚いていました。午後からは、自分の採集した虫たちを標本に……。児童たちの虫を追う姿が印象的な一日でした。

27日

「ふぁみりーでいみゅーじあむ」でオリジナルうちわ作りに挑戦しました。ポスターの裏側の白紙部分に好きな絵を描き、それをプラスチックの骨組みに、張りあわせるだけの簡単なものですが、ちょっとエコで、立派なうちわに変身！家にあるもので出来ますので、皆さんも挑戦してみたいはいかがでしょうか？



かわいい参加者たち



これが、土器です！

なにかでないかな!!



31日

ジュニア探検クラブで、森町の石倉1遺跡で体験発掘をさせてもらいました。はじめに、遺跡について説明を受け、いざ発掘……。だったのですが、残念ながら、遺物を見つけられませんでした。でも、みんな、また挑戦したいと熱くなっていました。

9月の予定

1	月
2	火
3	水 夜の博物館
4	木
5	金
6	土
7	日
8	月
9	火
10	水
11	木
12	金
13	土
14	日
15	月 敬老の日
16	火 特別展OPEN予定
17	水
18	木
19	金
20	土
21	日 ふぁみりーでいみゅーじあむ
22	月
23	火 秋分の日
24	水
25	木
26	金
27	土 ジュニア探検クラブ「収穫してたべろ！」
28	日 世界にひとつだけのリンゴジャムづくり
29	月
30	火

9月の休館日はありません。

威風堂々!

ロビー展が開催されていますが、外国産のカブトムシの大きさに、驚く子供の姿が、とてもかわいかったです。多くの来館有難うございます。(S)



編集後記 ~tawagoto~

ここ1カ月くらい、ロビー展を開催していることもあって、カブトムシたちの世話に明け暮れている。彼らは、夏に見られる虫だが、暑さにはめっぽう弱い。だから油断していると、弱ってしまい大変なのだ……。でも、子供たちに人気の彼らがいなくなってしまうと、なんだか職員が減ったような感覚になりそうです……。 (やまだひさし)

Richard

～ピチャリ～

第8号

平成20年8月20日 発行

七飯町歴史館

〒041-1193 亀田郡七飯町本町568-6

電話 0138-66-2181 FAX 0138-66-2182

E-mail: rekishikan@town.nanae.hokkaido.jp